

**ICAS 活動予定**

**◇第1回サステナフォーラム◇**

日時：5月19日(Mon)15:00～

場所：茨苑会館 2 回 7/8 集会室

講演者：Jeffery I. Steinfeld

タイトル：Climate, Energy and Green Chemistry:  
Challenges and Opportunities for Education  
お問い合わせは ICAS 事務局・植松まで

TEL&FAX:029-228-8787

[m-uematsu@mx.ibaraki.ac.jp](mailto:m-uematsu@mx.ibaraki.ac.jp)

**◇ 内容 ◇**

今回は MIT(マサチューセッツ工科大学)より Jeffrey I. Steinfeld 教授をお迎えして、気候変動が食料供給や水資源に与える影響や持続可能な社会に向けたエネルギー技術の現状や展望を解説していただきます。

またサステナビリティ学を普及させていくための MIT で導入されている教育プログラムである MITeI(MIT Energy Initiative)の紹介をはじめ、サステナビリティ教育の課題についてもお話していただく予定です。

**ICAS 活動報告**

**◆ ICAS 学生フォーラム◆**

2008年3月10日(月)15:00より、茨城大学水戸キャンパス茨苑会館 1 階・会議室で学生フォーラムが行われました。学生、教員合わせて50名ほど参加し、最後にポスター賞が発表されるなど、大変有意義なフォーラムとなりました。ちなみにポスター最優秀受賞者は農学研究科・梅津昌史さんでした。おめでとうございます。

**◆いばらき地域サステナワークショップ◆**

2008年3月14日(金)13:00より茨城大学水戸キャンパス理学部インタビュースタジオで第1回いばらき地域サステナワークショップが開催されました。学内外あわせて50名が参加となり、活発な意見交換が行われました。



**ICAS/IR3S Calendar**

4月	新年度スタート	10月	社会連携事業シンポジウム (水戸)
	4/7～ ICAS 研究発表会・開始 毎週月曜日 14:00～		
5月	4/17・18 IPCC-IR3S サイエンス・シンポジウム	11月	11/1・2 第4回茨城大学国際学生会議
	5/19 第1回 ICAS サステナフォーラム いばらき地域サステナワークショップ	12月	12/3～5 日本ベトナム・シンポジウム (ハノイ)
6月	6/14・28・7/12 集中講義「サステナビリティ学入門」	1月	
7月		2月	IR3S 公開シンポジウム アジア・メガデルタ・シンポジウム "Cities at Risk" (バンコク)
8月	8/9～22 IPoS2008 開催 (タイ)	3月	3/2～4 IR3S 共通コア科目「サステナビリティ学最前線」
9月			

ICAS の予定に関するお問い合わせは ICAS 本部まで

[icas@mx.ibaraki.ac.jp](mailto:icas@mx.ibaraki.ac.jp)

\*網掛けは継続される企画です

## ◇小峯先生受賞おめでとうございます！◇



「科学技術分野の文部科学大臣表彰  
科学技術賞（研究部門）」を受賞して

茨城大学工学部都市システム工学科

小峯 秀雄

この度は、大変栄誉ある賞をいただきましたこと、心から御礼を申し上げます。今回の受賞題目は「ベントナイト系遮水材の膨潤及び透水特性の実験と理論の研究」というものです。皆さんは、何気なく電気を使っていると思いますが、日本では、その電気の約30%は原子力発電が担っております。これに伴い、日々、放射性廃棄物が発生しています。受賞した研究成果は、この放射性廃棄物を出来る限り安全に処分するための粘土材料（ベントナイトと呼ばれる不思議な粘土です。水を吸うと。なんと5~10倍にも膨れ上がります）の使い方や寸法などの材料条件の設計法を提案したものです。放射性廃棄物の危険性は1000年以上にも及びますので、この研究テーマは、茨城大学 ICAS が標榜する「サステナビリティ学」の1テーマです。茨城大学の教養科目として開講されている「サステナビリティ学入門」でもお話しておりますので、是非、聴講してください。

今回の受賞を機会に、学生の皆さんに送りたいメッセージがいろいろと脳裏に浮かびました。その内の二つをご紹介します。「努力は裏切らない」と「孤高に陥らず、孤独を恐れず」です。自分の希望がかなわなかったり、自分の思うようにゆかなかったり、夢にこだわって過ぎて新しい一歩を踏み出す勇気が持てないと思っても、とにかく偶然にでも出会ったテーマに“一生懸命”に取り組んでみてください。一生懸命に取り組んでみると面白い側面が必ず見つかります。また、自分が取り組まなければならない理由にも出会えるはずですよ。努力をしてみてください。絶対に「努力は裏切りません」。

それから、今の私は自戒も込めて「孤高に陥らず」を肝に銘じると共に、学生の皆さんには「孤独を恐れず」というメッセージを送りたいと思います。偶然に出会ったテーマであっても、例え亜流のテーマであっても、一生懸命に努力して、やる気を自ら創り出し、視野を広く持って、誰も注目してくれなくても、自分を信じて努力してください。数十年経って自らを振り返ると、「私は精一杯やった」という充実と感動を味わえます。

## ☆サステナ本発刊間近☆

### 三村信男・伊藤哲司・田村誠・佐藤嘉則編「サステナビリティ学の構築(仮)」新曜社

ICASのメンバーが一丸となって、現在サステナビリティ学に関する入門的な書籍を作成しています。サステナビリティ学に関心のある方への基礎的な文献として、また学部学生向けの集中講義「サステナビリティ学入門」の副読本として、活用されることになるでしょう。

#### < 本書の構成 >

第Ⅰ部 サステナビリティ学の誕生

第Ⅱ部 サステナビリティ学の実践(1): 地球システムへのアプローチ

第Ⅲ部 サステナビリティ学の実践(2): 社会システムへのアプローチ

第Ⅳ部 サステナビリティ学の実践(3): 人間システムへのアプローチ

第Ⅴ部 サステナビリティ学の展望

\*本文の他にもコラムや付録も充実しています。



#### ICASメンバー紹介

##### 草野 栄一（くさの えいいち）

ICAS 産学官連携研究員  
てんびん座・?型

いわき市生まれの茨大育ち。最近まで茨大農学部で中国内蒙古自治区のフィールド調査を通じた農村開発戦略の評価をしてきました。4月からはICASで適応政策評価の概念整理やフィリピンの適応政策研究をすることになりました。よろしくお祈りします。

#### ICAS on MEDIA

##### 茨城新聞好評連載中!!

毎週火曜日「暮らし」欄にて、「茨城大学発・持続可能な世界へ」をテーマに連載中。ICAS事務局にて閲覧可。現在、第40回(4/15現在)まで連載終了。

#### Editor's Note

これから編集担当させていただきます。  
よろしくお祈り致します。